

# 至誠館大学

科目名	教職概論（中・高）			コード			
英語表記							
担当教員名	高橋 一栄			年度	平成28年度		
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義・演習	授業形式		履修形態	教職		
授業概要							
日本の教育の歴史をはじめ、教員養成・採用・研修制度の実際、さらに、教育法規や学習指導要領の変遷を踏まえた教員の役割、職務等について授業を展開する。また、教育の本質について議論を展開する中で、地域教育と教員の在り方、教員の理想像等についても、授業の中で迫ることになっている。							
到達目標							
教職を目指す学生に、教師に課せられた現代的課題について多角的に概説を行い、議論を展開する。特に、学生が教職の意義、教員の役割、教員の職務等のテーマに対して、日本の教育の歴史や教育法規及び学習指導要領の制度等を通して、教育の具体的なかつ本質的な理解を促し、教職を目指す学生の意欲を一層高めることを目標とする。							
授業計画							
第1回	教職とは何か。・・・本講義の概要と目標の提示						
第2回	日本の教育・・・江戸時代から明治維新まで						
第3回	日本の教育・・・明治維新から1945年まで						
第4回	日本の教育・・・1945年以降から現在まで						
第5回	教員養成制度について						
第6回	教員採用制度について						
第7回	教員研修制度、教員のメンタルヘルスについて						
第8回	教育法規から見た教員の身分の規定、職務の内容について						
第9回	教育法規から見た教員の役割						
第10回	進路選択に資するキャリア教育の推進						
第11回	家庭と学校の連携における教員の役割						
第12回	地域社会と学校の連携における教員の役割						
第13回	今日における教員の理想像について						
第14回	まとめ(1)・・・授業を総括し、重要な内容を確認						
第15回	まとめ(2)・・・学生の理解度を確認、評価						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
期末試験を主として、授業態度及び、適宜示す課題レポートも考慮に入れ、知識・理解、思考・判断、関心・意欲の観点別評価規準に基づいて評価を行う。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				20	20	60	
授業外学習			テキスト、教材				
課題レポートの作成			毎時間、自作テキストを配布する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
毎時間、適切な資料を紹介する。			学校教育に携わる者としての使命感に火をつけていきたいと考えています。講義を楽しみながら、教職への道を目指してください。				
キーワード							
教職概論、日本の教育、教員養成、教員採用、教員研修							